

城取博幸の

チェコ プラハのスーパーマーケット見聞録

NO61

城取フードサービス研究所

城取 博幸

チェコの概要

国名： チェコ共和国

首都： プラハ

面積： 78866平方キロメートル 日本の面積の約五分の一

人口： チェコ総人口約1,037万人 プラハ約122万人

民族： チェコ人94%（スラヴ人）、スロヴァキア人3%、その他ポーランド人、ドイツ人

言語： 公用語はチェコ語。かつてはボヘミア語と呼ばれ「西スラヴ語」に属する

宗教： 無宗教58%、カトリック26%、その他プロテスタント、ギリシャ正教

地理： ボヘミア地方は高原地帯と盆地で、「ボヘミアの森」と呼ばれる広大な森林が広がる

気候： 大陸性気候で日本と同じく四季があり、比較的温暖な気候。冬は寒さが厳しい。

ウィーンからチェコ プラハへ国際鉄道で移動

3カ国目になるが、ハードスケジュールであるため、そろそろ疲れが出始めた。

疲れていても、スーパーマーケットに入ると、楽しくてつい1時間以上見てしまう。

本当に、自分はスーパーマーケットと食べるのが好きだなと思う。

国際列車の乗り方

完成したばかりの、新しいウィーン中央駅から国際列車のプラハへと向かう。

乗車時間は約4時間。

まず、掲示板でホームの番号が発表されるまで待つ。



自分のチケットを確認

25号車 座席番号16

乗る電車の確認



ホームに向かい乗車位置を確認

赤い点の「STANDORT」は「現在位置」の意味

電車が到着



自分の席の確認と、到着地の確認

ランプが付いていない席にも座れるが、いつ指定席に変わるか分からない。

荷物は、入口付近に荷物棚もあるが、安心して眠るためには、中央の荷物棚の方がいい。

駅の「SPAR」で買ったサンドイッチ



オランダ名物「キャメルワッフル」と社内で買ったコーヒー



こういう食べ方をしてみたかった。
適度に湿気があり、キャメルも溶け出し食べやすい。

ハンガリー～ウィーン～チェコと同じ景色

麦畑ばかり



検札はウィーン側とチェコ側で2回ある。
チェコに入ると、いきなり「中世の村」が現れる。

ヨーロッパ統一規格のハンマー



チェコ プラハ中央駅に到着
新しい駅だが…



タクシー乗り場に向かう

しばらく様子を見ているうちに、嫌な予感。

これは、長年の感から

一等地にタクシーの看板を付けたタクシーが3台止まっているが、ドライバーは車から降りている。

普通は次から次へと客が乗るためこんなことはない。

おかしいと思い、インフォメーションに行き

「あのタクシーは安全か？」と聞くと、

「分からない」と答える。

「安全な AAA タクシーに乗りたいのだが」というと、

「両端で待ちなさい！」と答える。

これでおおよそ意味が通じた。

いくら待っても AAA タクシーは来ない。

安全なタクシーは駅前から追い出されている。

アジアのどこの国かは覚えていないが、空港で白タクを追い出したら、発砲事件につながった例もある。

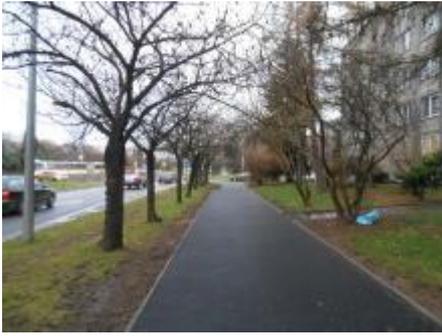
しかし、首都の駅前のタクシーの看板を付けたタクシーが観光客に不安を与えるようでは困る。

仕方なく、地下鉄でホテルへと向かう。

旅も終盤に近づいているため、重い荷物を抱えて歩きたくはなかったが仕方ない。

24時間チケットを購入して地下鉄に乗る。

雨の中、こんな道を歩きながらホテルへと向かう。



途中にスーパーマーケット「BILLA」の看板。

ホテルに到着

周りは何もない。

今夜もまた「BILLAめし」か？

嫌いではない。



部屋のテレビは、フィリップのブラウン官

部屋にタオルがないので取に行く。

日本の30年前の「保養センター」のようなホテル。

WIFIがつながるだけでもありがたい。

チェコのスーパーマーケット

プラハには、「アルバート」(ALBERT)と「ビラ」(BILLA)の2大スーパーマーケットがる。

「アルバート」は、オランダアホールドの小売部門、オランダ特集でも紹介したが、オランダでは「アルバート ハイネ」(ALBERT HEIJN)という名前で店舗展開している。2005年に「ユリウス・マイル」から57店舗を取得して、チョコに250店を展開している。スーパーマーケットだけでなく、ハイパーマーケットも展開している。

「ビラ」は、オーストリア澆の小売業だが、ドイツの「REWE」の傘下になっている。イタリア、ブルガリア、東欧などに展開している。イタリアのヴェネチア特集でも紹介した。

「ヒッペルノヴァ」(HYPERNOVA)と英資本「テスコ」(TESCO)は「ハイパーマーケット」です。ハイパーマーケットは中心からは少し離れたところにある。

チェコのユリウス・マインの「グルメ宮殿」は閉店

オーストリアのスペシャルティ・ストア「ユリウス・マインル Julius Meinl」が、昨年末プラハに新しく超高級食料品店「グルメ宮殿」オープンをオープンしたが、クリスマスセールを前に1年もたず閉店

店を探しても見あたらないので、インフォメーションに聞くと、

「1か月前に閉店した」という

プラハの「MUSTEK」、東京でいえば「銀座」の一等地でも通用しなかった。

高級店はまだ時期が早かったかも知れない。

店を見るのを楽しみにしていたが仕方がない。

機会があれば、ウィーンの本店を見てみたい。

ホテルの近くの「BILLA」で購入した商品



今日の夕食は「BILLA めし」

BILLAの店舗レイアウトは全店ほぼ同じなので、今回は省略する

BILLAの「クリスマス パンフレット」



こちらのクリスマスのごちそうメニューは、「カモのロースト」と「ターキーのロースト」のようだ。

日本もこれから「カモ」を売り込みたい。

店でよく売られている「クリスマス菓子」

硬めのフルーツケーキ。

大小の品揃えがあり、日持ちする。
パウダーシュガーがたっぷりとかかっている。



「ニシンのスモーク」

ニシンを丸ごとスモークしたもの。
焼くよりはソフトで香りもいい。
これで 200 円もしない価格

焼きソーセージ

BILLA の店には、ホットデリカがある。
ロテサリーチキンがメイン。
スチーマーで温めて売っているが、少し乾いている。



チェコの名物料理

ポイルしたスライス牛肉がクリームソースの中に入っている。



付け合せは、これもチェコ名物の蒸しパンのようなもの。
これでも、価格は 300 円程。物価は日本の半分か三分の二程

TESCOの都市型スーパーマーケット
my ショッピング・センター内の「TESCO」



地下1階の600坪ほどのスーパーマーケット、ハイパーマーケットではない。

細長い店で、 Gondola が短く切られていて、その周りを客が回るので、客同士がよくぶつ
かっている動線。



青果売場の続きは、ケーキ売場とパン売場

ベリージャムのパイ

外はパイ生地、中はベリージャム
サクサクとした食感と濃厚なジャム



自動パンスライサー

客が自分で機械を操作しパンをスライスする。

魚売場は対面販売のみ

チルド売場は加工品のみ



肉売場の徹底研究

40%以上の売場構成比

肉は、対面売場とパック売場で販売。



肉、加工肉、乳製品で売上構成比40%以上？もありそうなゾーニングとレイアウト
肉類や加工品が強いのは分かるが、同種、同類の品揃えが多い。

クリスマスに向けた売場

チェコでは、「ターキー」と「カモ」がクリスマスのごちそうのようだ。

カモの正肉真空パック。



カモのレバー

カモの「ハツ」と「せせり」

カモを丸ごと潰せば、内臓肉も一緒に出るため、それらが商品化されている。



鶏肉には「鶏のイラスト」、カモには「カモのイラスト」がついているが、カモとガチョウのイラストは、分かりづらい。

ステーキ用の肉は、全て「真空パック」か「スキnpック」

チェコでも牛肉は高級品。

ロスが出ない真空パックの売り方が正解。

それに、自分の好みの部位が選択できる。



ブロック肉も、酸化、乾燥、細菌の繁殖を防ぐため真空パックで販売。
日本もこんな売り方ができないものか。

チルドの「クネドリーキ（蒸しパンのようなもの）」売場

料理の付け合せによく使われる食材。



チルドのレディ・ミール売場

このように、9尺以上の売場を確保しないと、目立たない。
日本の売場は貧弱すぎる。

「オリエントシリーズ」の「焼きそば」を試食。

香辛料がかなり強い東南アジアの味付け。



小麦粉を練って具を詰めた「丸型の餃子」のようなもの。

ポーランドの「水餃子」の団子版。

衣の比率がかなり高く、具をすいとんで包んだよな、粉っぽさが残る。



デリカ売場のサラダとペーストの量り売り



魚の酢漬け売場

たまねぎの酢漬けをニシンの酢漬けで巻いたもの。

大きなニシンであるため、皮が気になる。

しかし、ニシンはコハダのようでおいしい。



量り売りの「コールスロー」

ここのはあまり甘くない。

チルドコーナーの「ハムサラダセット」

基本アイテムが詰合せてある。



ゴンドラエンドの「アジア食品コーナー」



ワサビものりも韓国製

「すし」の発祥は韓国と言いたげ

インスタントみそ汁



袋めんは、良く品揃えされているが、カップ麺は2種類だけ
まだこれから



牛乳 1ℓの価格は 180 円ほど
フタつきの商品が目立つ。
日本も将来はフタ付の商品も登場するはず

たまごは 6 個入り 100 円を下段で展開。



TESCOの低価格PB「VALUE」の小麦粉 100 円

「クネドリーキ」専用粉



TESCOの立地は、日本でいえば銀座から歩いて行ける距離
近くの高級食料品店が1か月前に閉店したため、その客も流れている。
チェコ料理の商材もよく品揃えされ、地域に密着型の店。
客のターゲットは中間層以上、午後3時であるがよく客が入っている。
レイアウトは気に入らないが、完成度の高いスーパーマーケット

プラハのホテルの朝食



宿泊したホテルは、郊外で日本の 30 年前の「保養センター」のようなホテル。
駐車場には、大型バスが何台も駐車している。
ロシアからの観光客らしい。

驚きの朝食buffet

レストランの入口を入ると、サラダbuffet
ステンレスのボールに 20 種類ほど並ぶ。
マヨネーズで和えた、野菜のボイルサラダとパスタのサラダ
味のベースは同じだが、素材の味が生きている。
日替わりで内容も変わる。



生野菜サラダ

スライスされたパン

そのまま食べるようで、トースターはない。



ベリーのジャム

ペクチンジャムだが、果肉の量が多い。

シリアル類



ハム、チーズ

ホートミール

ソーセージのカット、マッシュポテト、グレービーソース、野菜スープ、ライス、赤キャベツの煮物



デザート

蒸しケーキのようなもの。その他、コーヒー、紅茶、100%果汁ではないジュース類
周りを見ていると、やはりサンドイッチにして食べている。

7時からだが、10分ほど過ぎると行列になる。

社員食堂のような会場で、300人ほどの客が一気に詰めかける。



この朝食を豊かと思うか、貧しいと思うか。

私は素朴で豊かだと思う。

チェコの歴史

6世紀 ボヘミア、モラヴィアに「スラヴ人」が定着し始めた。

9世紀 ゲルマン系フランク王国の影響を受ける。

11世紀 神聖ローマ帝国の一部となり、ドイツ的な発展を遂げる。

14世紀 カール4世が神聖ローマ帝国の皇帝となる。

15世紀 オーストリア「ハプスブルグ家」がボヘミア（チェコ）とハンガリーを支配する。これ以降、ハプスブルグ家が世襲的に皇帝の座に就く。

18世紀 ハプスブルグ家の「マリア・テレジア」は、チェコ語の使用を禁じ、学校でドイツ語を奨励する。

20世紀 第一次世界大戦でオーストリア＝ハンガリーの二重帝国が解体されたことにより、ハプスブルグ家の統治下にあったチェコも独立を果たす。

・第二次世界大戦中、ナチス・ドイツに占領されていたチェコスロバキアは、戦争末期にソ連によって解放された。

・ソ連の監視下の元 1960年「チェコスロバキア社会主義共和国」が誕生。

・政治改革「プラハの春」は、その後、ソ連軍のプラハへの軍事介入によって終焉した。

・1989年「ビロード革命」により、1992年、「チェコ共和国」と「スロバニア共和国」として誕生。チェコは2004年にはEUに加盟している。

スラヴ人

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%83%B4%E4%BA%BA> より

中欧・東欧に居住し、インド・ヨーロッパ語族スラヴ語派に属する言語を話す諸民族集団である。ひとつの民族を指すのではなく、本来は言語学的な分類に過ぎない。

・東スラヴ人（ウクライナ人、ベラルーシ人、ロシア人）

・西スラヴ人（スロバキア人、チェコ人、ポーランド人）

・南スラヴ人（クロアチア人、セルビア人、ブルガリア人など）に分けられる。

言語の共通性は見られるものの、特に西スラヴと東スラヴの間は歴史時代以前より断絶があり、文化的共通性は希薄である。

プラハ観光
プラハ王宮と教会



カレル橋

カレル橋の反対側は、フランシスコ・ザビエルが学んだ、イエズス会の学校
現在は、プラハ大学になっている



橋に作られたフランシスコ・ザビエルの像



下を支えるのは東洋人
インド人と中国人らしき像



触ると幸せになるという



こんな階段を登る



丘からの景色

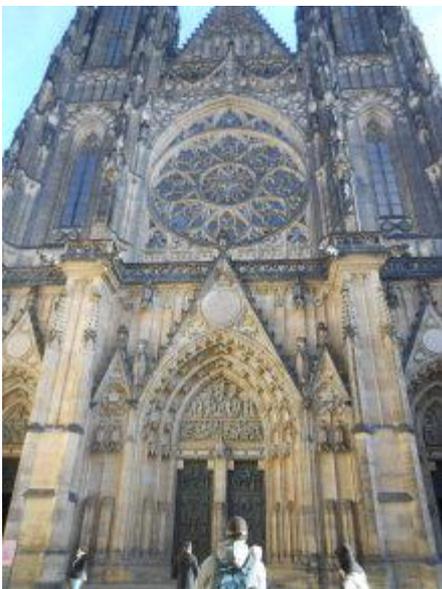


丘の上の景色



王宮

聖ヴィート大聖堂



水飲み場

手前左側がくぼんでいる。

当時の人々が、ここに手を置いて水を飲んでいた跡

TOY MUSEUM

黄金小道を出てすぐのところに、常設のToyミュージアムがある。

おもちゃファンにはたまらないものが展示されています。

写真だけですが参考にしてください。







